

平成 30 年 5 月 19 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム 平成 30 年度 第 5 回

ロボットホテル視察

陽明学は実践が重要な柱であると何度も申し上げています。気になったこと、調べたいことは即座に実践する。出かけて行って、その状況を見る。それによって情報が生きたものになります。

ハウステンボスの中に出来た「変なホテル」が世界初のロボットホテルということでギネスブックに認定されて、話題になりました。以前お話ししましたが、私は「変なホテル」がオープンするという話を聞いてすぐに、家内と一緒にハウステンボスに行き泊まりました。フロントは女性のロボットと恐竜のロボットがいて、受付の業務をしていました。荷物はロボットが運んでくれます。部屋に入ると小さなロボットがいて、声に反応して電気をつけたり、時刻や明日の天気を教えてくれました。

これはだんだんロボットの時代に入るなと思っていましたら、先月、「変なホテル」が浜松町にも出来たと聞いて、早速行って来ました。感想としては、人工知能・ロボットは温存して普通の技術を活用し、コストダウンを極端にしていると感じました。日本の現状と未来について感じるものがありましたのでお話致します。

ハウステンボスのホテルはロボットと会話をしましたが、浜松町の受付ロボットは「いらっしゃいませ」と会釈をするだけで、会話をすることはありませんでした。フロントの大きなタッチパネルを自分で操作してチェックインの手続きをしなければなりません。このホテルはパソコンが使えない年寄りには来なくて良いとばかり、客を完全に選別している。酷いホテルだというのが私の実感です。

タッチパネルに自分の名前や住所、生年月日等を入力するのですが、私は何度入力してもはじかれてしまうのです。何度もやり直して、ようやくチェックインができました。ハウステンボスの受付は、つまずいていると奥から日本人スタッフが出てきて対応してくれるのですが、こちらのロボットは喋らないし、奥から人間も出て来ませんでした。タッチパネルが操作できる人間でなければだめだという意志が明確でした。パソコンが使えない年寄りは泊れなくなったのかと思いました。

チェックアウトも同じです。日本人は現金を支払うことに慣れていますが、浜松町のホ

テルはタッチパネルを操作して支払いをするので、年寄りには不便なものです。フィンテックという言葉がありますが、ロボットが進んで行ったら、スマホで支払いを済ませるという中国の形態が当たり前になるのだろうと実感しました。

ハウステンボスのホテルはプレハブ建てのような印象で、急拵えの木賃宿を作ったという印象でした。しかしディズニーランドを模したような施設だから、見た目には結構面白い工夫がありました。例えば、部屋に入る時は大概カードを差し込むのですが、ハウステンボスのホテルは顔認証で、目の情報を読み取ってドアが開くようになっていました。

ところが浜松町のホテルは、ロボットや人工知能を活かした仕組みは皆無でした。現在の技術力を集めて極端なコストカットをして、べらぼうに安い費用で建物を造ったという印象です。部屋の中の物品も、見事なくらい減らしてありました。おそらくこれは100店舗くらい造ることを考えていると感じました。

翌朝、ホテルのレストランに行くと、幸いにしてスタッフがいて会話が出来ましたからホットしました。レストランの人はホテルの従業員ではなく、系列ホテルのレストランの運営をしているという外注先の人でした。話を聞くと、やはりこのホテルは多店舗展開を考えているとのこと。オリンピックが終わったら不況になるけれど、そうなったらどうするのかと尋ねると、このホテルは不動産投資だから大丈夫だということでした。

オリンピックを狙って、極端に建築費を削り、ホテルのコストを削って、しかも料金は高く設定していましたから、荒稼ぎをしています。最初はもの珍しさで客が来るでしょうから、オリンピックまでは荒稼ぎできるでしょう。そして、オリンピックが終わって閑古鳥が鳴き出したなら、さっさと売ってしまう。ですからホテルとして便が良いか悪いかは関係ない、換金しやすい物件を押さえているわけでしょう。

おまけに、浜松町のオフィス街だから年配の人が結構来るはずなのに、レストランの雰囲気は全てが若者向けでした。その方曰く、「中高年をターゲットにしません。夜、若い子が集まってどんちゃん騒ぎをしてくれる。そちらをメインにしているから、今お客が来なくても心配ありません」というわけです。見た感じと、儲けようという狙い方がまるで違うというのを目の当たりにして、驚きを感じました。

そこで感じたことは、時代が変わってきたということです。

今日の新聞にこんな記事がありました。

・**統合へ シェア下げ焦点 ふくおかFG・十八銀** (5/19 読売新聞)・・・ふくおかフィナンシャルグループ(福岡市)と十八銀行(長崎市)が経営統合を目指して動いている

けれども、統合すると県内のシェアが7割になってしまうので、公取委が待ったをかけている。そこで両社はシェアを下げるために取引先16,000社に対して借り換えをお願いして歩いている、という記事です。それに対して金融庁は、「経営余力があるうちに統合を認め、地域に貢献する方が望ましい」と、統合を前提で見ているという書き方でした。

銀行も今や、生き残るために何処と合併しようかと目の色を変えています。利ざや稼ぎはもはやあり得ないビジネススタイルだと、どの銀行のトップも思っているようです。ならばそれに代わるものは何をすればよいか・・・。

この銀行のように、相変わらず統合して規模を拡大しようと考えていると取り残されてしまうと思います。

世の中はどんどん変わっていきます。例えば保険業界では、毎日歩いた歩数をスマホで計測し、そのデータによって保険金が還付されるといった新しいタイプの商品が出ています。新たなビジネスモデルが生まれていると感じます。

政治に関してはどうでしょうか。今朝の読売新聞に、「**国民投票法改正案を了承**」とあります。郵便投票について、約160万人に及ぶ要介護3と4の人にも対象を拡大する公選法改正案をまとめたというものです。これからは郵便やネットでも投票ができるような方向にどんどん進んでいます。

他にも、「**政治の男女共同参画推進法成立**」という記事があります。「衆参両院や地方議会の選挙で、男女の候補者数が出来る限り均等になるよう、政党や政治団体に数値目標を設ける努力義務などを課している」とあります。国政だけでなく地方議会にも女性が立候補しやすくなるような方向に後押しを進めているという内容の記事です。

ですから政治の仕組みも根底から変わるであろうと思っています。

本を読んだり、テレビやネットから色々な情報を得てショックを受けます。それはほんの少しのショックです。しかし体験をすると、とても大きなショックになります。今回、私は「変なホテル」に泊まって色々なことを考えました。これからの時代はロボットがごく当たり前になるようになる。そして、人口知能は人間を追い越すだろう・・・それを前提にして、それぞれの業界がどのように変わろうとしているのか、変わってきているのか。「変なホテル」に泊まったことによって、今まで持っている横の知識が融合して、ポンと弾けました。そうしましたら、ものの見方がまた一步変わってしまった。少なくとも10年くらい先はこうなるだろう、というのが見えて来ました。

木内信胤先生は、「情報は、人間対人間のぶつかり合いから生まれる」と言われました。

人間対人間がぶつかり合う中で、閃きが生じた時、情報が情報として生きるのであろうと思います。また先生は、「新しい仕事は、経営者が腹をくくってやるしかない」とも言われました。トップが腹をくくって前例のない事にチャレンジする。その判断材料は体験である。人と会って話を聞いて、そういう人間と人間のぶつかり合いの中から情報が生まれ、身体に染み込む。くれぐれも本だけというのは止めなさい・・・そのように木内先生から教えて戴きました。私はそれを最近の事例を挙げて皆様にお伝えしています。自分を変えようと思ったなら、驚くような人物に会うことです。驚くような場所に行くことです。それによって変わります。

国を有ち家を有つ者は・・・

では、論語の解説を致します。その中で時事評論を入れてお話致します。本日の論語は、季氏篇1の続きです。

前回説明したように、ここは孔子（70代）と、弟子の冉有（40代）のやりとりです。分かりやすいように魯という国を会社に置き換えて説明すると、魯という会社の社長は病弱で頭も判断能力が鈍っている。副社長（季孫子）と専務（孟孫子）と常務（叔孫子）が力を持っていますが、副社長が会社の利益の半分くらいをとってしまって、残りを専務と常務がとっている。社長のところには涙金しかいかなないような状態です。その会社にはいくつか子会社があって、そのうちの一つで利益を上げている子会社（顓臾）を副社長が自分のものにしようと企んで、部下（冉有）に相談をした。そこで冉有が自分の師匠である孔子に意見を聞きに来たというやりとりです。

【一】丘や聞く、国を有ち家を有つ者は、寡きを患えずして均しからざるを患え、
まず貧しきを患えずして安からざるを患うと。蓋し均しければ貧しきことなく、和げば寡
きこと無く、安ければ傾くこと無し。夫れ是の如し。

中身だけ意識しますと、その身分、身分に見合ったお金があればよいということです。季氏は十分な収入があるにもかかわらず、まだ顓臾を欲しがっている。これは分不相応ではないか。お前はそれを諫めなければ駄目ではないか・・・と、弟子の冉有を諫めていると理解すればよろしいでしょう。

故に遠人服せざれば、則ち文徳を修めて以てこれを来す。既に之を来せば、則ち
之を安んず。

遠人とは、会社で言えば、遠い所にある出張所です。その出張所から収益はきちんと届くけれども、なかなか本社の言う事を聞かない。そういう場合、無理やり収入を横取りすることをせずに、出張所がきちんと回るようにして、本社が模範となるようにするべきだと言っています。

いま ゆう きゅう ふう し たす えんじん ふく きた あた くに ぶんほうり
今 由と求とは、夫子を相くるに、遠人服せざれども、来すこと能わず。邦文崩離
せき まも あた しか かん か ほうだい うご はか われ きそん
析すれども、守ること能わざるなり。而して干戈を邦内に動かさんことを謀る。吾季孫
うれい せん ゆ あ しょうしょう うち あ おそ
の憂は、顛輿に在らずして、蕭牆の内に在らんことを恐るるなりと。

「文崩離析」とは、季孫子が4分の2、孟孫子が4分の1、叔孫子が4分の1という割合で魯の国を押領していて、国が分割されていると理解して下さい。

季孫子は顛輿を攻め取ってしまおうと考えるより、自分のすぐそばにいる人間が謀反を起こす、自分の足下が崩れてくることを心配すべきだと言っています。

では、現代に置き換えて考えましょう。

「国を有ち家を有つ者は、寡きを患えずして均しからざるを患え、貧しきを患えずして安からざるを患うと」・・・これは孔子の理想像です。それと照らし合わせてどうでしょうか。

北朝鮮の場合・・・北朝鮮の委員長であれば、国民が貧乏を気にしないで上も下もお互い信頼し合う、そういう国家にすべきでしょう。実際には、軍人はそれなりの生活の保障がされているけれども、収入は相当極端ですね。恐怖政治を強いて、信頼し合っているポーズを作らせている。自分に反対する者は、軍人であっても即座に更迭をしているようです。

アメリカの場合・・・トランプさんは自分の一族や自分を応援してくれる人達に良かれと考えているだけで、国家全体というやり方には思えません。「寡きを患えずして」という部分は、本来アメリカは移民をどんどん受け入れる国柄だったはずですが、移民を受け入れない方針が変わってしまった。北朝鮮は国民が逃げ出していますが、アメリカの場合は国を富ませてくれる移民を受け入れないようにしました。形は正反対ですが、腹の中は同じです。「貧しきを患えずして安からざるを患う」という部分は、国民の収入はばらばらで、不平不満が多い。

日本の場合・・・例えば憲法改正に関して、国民が参加して投票するような動きにした

いとの方向で改正案が進んでいるようですが、果たして国民は政治家や官僚を信頼しているのでしょうか。政治家や官僚、会社であればトップの人たちの言動を信頼しているか、信頼投票のようなことをしたら、日本の場合はぐっと低いと思います。20代の若者に自国の政府や結婚・仕事に対する価値観等々についてアンケートをとったところ、日本の若者は未来に関する期待度が他の国の若者に比べて低いという調査結果もあります。

江戸時代、日本にきた宣教師たちが日本の印象を母国に書き送った手紙には、日本はそれほど豊かではないけれども、勤勉で、皆ニコニコして暮らしている。街の中は清潔である。母国よりも文化程度が高いのではないかと思われる・・・といった内容が多く書かれているとの事です。残念ながら今の日本は、衣食住は満ち足りていますが、人心の荒廃は凄まじく落ちています。北朝鮮とは違う形で、国家の実力は低いと思います。

孔子が言っているのは理想像ですが、それと照らし合わせると、北朝鮮も日本もほど遠いように感じます。ただ日本の場合は基本的な人生哲学が一時代前の余韻でまだ残っているので、それを再構築することができれば孔子の理想像に近づきますね。今の時代は殺伐としているから、やはり文化であるとか心を和らげるようなものが必要だと思います。

「邦 文崩離析すれども」・・・社長が病弱で、副社長・専務・常務が社長の金を分捕っているという部分を考えましょう。

麻生さんがまた失言をしました。今朝の読売新聞に、麻生さんが16日の自民党衆院議員のパーティーで2012年の総裁選を振り返って、「暗いやつを選ぶか、あまり頭の良くないやつを選ぶか。だったら、おなかの悪いのが一番いい（と思って支持した）」とあります。その時の候補者は石破さんと石原伸晃さんですから、どちらが暗いやつで、どちらが頭の良くないやつかは別として、こんなこと言うから叩かれるのです。

本当の所は分かりませんが、安倍さんと麻生さんは一蓮托生で、水面下で色々なことをしているのでしょう。ですから安倍さんが辞める時には麻生さんも辞めなければならいだろうし、麻生さんが辞める時には安倍さんも辞めなければならいだろうとは思いますが。

時事評論を交えて考えましょう。

・**北非核化なら体制保証 (5/19 読売新聞)**・・・トランプさんが、完全な非核化を条件に金正恩委員長に体制の保証を約束したという記事。

同じ紙面に、「**正恩氏 経済を改革・解放**」と、習近平さんとの会談で金正恩委員長が「経済の改革・解放に取り組む方針を伝えたことがわかった」とあります。

アメリカ・北朝鮮・韓国の落としどころは、大体見えているのだろうと思います。です

から、会った時にはもう既に決着をしているという方向で進んでいると思っています。北朝鮮は今まで、約束をしては守らずに、その間に自分のやりたい事をやるというスタイルでした。金正恩委員長は、自分の祖父・父親がやりたいと思った事は大体やってしまった。到達したいと思った所までほぼ来たから、もう変えようと思っているのでしょう。中国の真似をするとなると、鄧小平と同じようなことをしていかなければこの国は成り立たないということで、経済を活性化させたい。そのために中国の後ろ盾をとって、鄧小平と同じようなことをやりたいと言い出したわけでしょう。

中国は今、鄧小平のやり方をもう一步進めて、資本主義化に向けてソフトランディングを進めている最中です。習近平さんは今、ゴルバチョフのようにはならないように、毛沢東にもならないように、そうして新しいスタイルの軟着陸をめざしています。北朝鮮に対して恩を売り、アメリカに対しては、これからアメリカを棚上げして自分が世界を牛耳ろう…という流れで進んでいます。

アメリカの場合は、トランプさんがだいぶ実力をつけて来ました。今回の米朝会談も、前の大統領と同じ失敗を繰り返さないように水面下で動いて、二人が会った時には既に決着済みでセレモニーだけしたいという思惑が見え見えます。そのために、非核化で合意しない限り体制の保証は認めないと、どんどん大砲を打っています。

金正日委員長にしてもトランプ大統領、習近平主席、プーチン大統領にしても皆、「国を有ち家を有つ」いうことをベースにして、<国民のためにこんなに良い事をやっています>と言っていますが、本音が透けて見えます。

季氏篇【一】の論語で孔子が一番言いたいのは、本音を隠して美辞麗句で誤魔化そうとするな、本音を正直に言いなさいということです。私が常々言っている「嘘はつくな、約束守れ」と同じだと感じました。

「嘘はつくな、約束守れ」という部分で、日大アメフト部員による悪質タックルの問題が騒がれています。これは、日本人がここまで劣化したかという見本だと思います。指示をした監督が出て来ていませんが、表面だけ見ると、如何にもこの監督が悪いと見えます。しかし、実態は何なのかと考える必要があります。

マクロで見れば日本人の劣化ですが、色々な角度から見ればよいわけです。2.3日前のテレビで危機管理の有識者が、「こういう場合、すかさず責任者が出てきて事実関係を嘘偽りなく発表し謝罪するのが要諦だ。誤魔化そうとするな！」と言っていました。危機管理の観点から見れば、危機管理としての見解が出て来ます。自分自身に置き換えて考えれば

よいと思います。問題がはっきり分かっている、そこを突かれたら嫌だと思いながら誤魔化そうとして色々な言葉を並べて責任を転嫁している。だから問題が更に大きくなってしまふ。そういう日本人になっているのだと私は感じます。

ミクロで見れば、最高学府である大学で起こった問題です。今、大学もどんどん潰れる世の中ですから、大学として成り立たなくなりますね。それぞれの業界が劣化をし始めていますが、それがますます加速するだろうという見本だと感じます。論語の中でも、魯という国がどんどん駄目になっているというところで、現代に相通じるものがあると感じます。

「嘘はつくな、約束守れ」という部分で、もう一つ気になる記事がありました。

・**社保抑制 数値明記見送りへ — 与党「厳しい目標」に不満** (5/19 読売新聞) . . .
中身を見ると、「2016～18年度の予算編成は、一定の所得のある70歳以上の医療費自己負担の上限引き上げなどに踏み込んだ」「19～20年度も、社会保障費の伸びは5000億円を上回る水準で推移する」とあります。更に「25年には団塊世代が全て75歳以上になり、医療・介護費の急増が見込まれている」「政府は財政健全化計画の柱だった基礎的財政収支の黒字化を達成する目標時期はすでに先送りを固めている」 . . . こうやって綺麗に書いていると、誤魔化されますね。

「一定の所得」とは非常に都合の良い言い方で、はっきりした金額はどこにも書いてありません。しかも、一人当たりではなく一世帯あたりの金額です。だいたいボーダーラインは200万くらいでしょうが、その時の状況によってころころ変わります。嘘つきは泥棒の始まりと言いますが、これは嘘をついているわけではなく、誤魔化している科白ですから、泥棒の始まりを一步踏み出したようなものだと思います。

「政府は財政健全化計画の柱だった基礎的財政収支の黒字化を達成 . . .」という表現ですが、意味が通じますか？ 「政府は」という言い方も責任が明確ではありません。私の印象を言うと、日本の国としての収入はとてま少なくなった。しかし、公約をしているばら撒きはやめられないから、借金をして国を回しましょう。借金は積み増し、積み増ししているのだから、黒字化など出来るはずがない。けれども私の総理大臣の任期中は「止めた」とは言えないから、次の人が何とかしてよ . . . というわけです。

これがずっと繰り返されてきて、今、借金が1000兆を軽く超えています。それを更に、「先送りを固めている」というのです。今まで誤魔化し誤魔化し、嘘をつき続けて日本の国の収支を合わせて来たけれども、今回も約束を守れないから先送りします。嘘はつき続けます . . . というのがこの文章です。

「与党『厳しい目標』に不満」という見出しも、自分達に票を入れてくれる70歳以上の人達に厳しくすれば、自民党は困るわけです。

200万以上の所得がある人は、医療費を値上げします。したがって、医者にかかる回数を減らして欲しい・・・と、新聞はもっと分かりやすく書けばよいと思います。実際に、各自治体もそういう方向に努力する動きをしています。

こういう記事を見た瞬間に、政府の本音はどういうことなのか？自治体の本音はどうか？官僚の本音は？自分自身にどういう問題が降りかかってくるのか？・・・等々、見出しと中身をよく読んで、自分自身に置き換えてみる必要があります。それから錯覚しやすい表現が沢山入っているから、気をつけなければいけません。

小欲知足の実行

今日の紹介書籍は前回と同じ、天風先生の『盛大な人生』と『鍊身抄』です。『盛大な人生』は講演録です。天風先生は落語や講談を参考にして、面白おかしくゲラゲラ笑いながら、はっと心に残るような話し方を工夫されていますから、非常に読みやすい本です。『鍊身抄』は天風先生がご自身で考えたことを論文として書き出しているのだから分かりにくいと思いますが、読みやすい本からだんだん難しい部分に入っていくのは良いと思います。

中斎塾フォーラムの基本哲学は、「足るを知る」ということです。今日の論語にも入っています。若い時はご飯をどんどん食べられます。動き回るから、直ぐにお腹が減って、また食べられる。年齢を重ねた皆さんは如何でしょうか？

・・・節制して食べ過ぎないようにしています。（岡本参事）

・・・若い頃のように、食べられなくなりました。（小此木幹事）

齢がいくつくと、だんだん食べられなくなりますがね。隣で若い人がもりもり食べているのを見ても、羨ましいとは思わない。自分はこれで十分だと思う。「足るを知る」とはそういうことです。つまり、欲望をコントロールするということです。齢がいくつと、これ以上は食べられないにもかかわらず、目が食べたいと思ってどんどん貪り喰うのを「足るを知らざる」と言います。「少欲知足」はそういう内容になります。

今日のテーマは「実行」です。岡本参事が、「食べ過ぎないように節制している」と言っていました。節制しようとする人が、その通りに節制していく。是非、それを実行する実行力を鍛えて戴きたいと存じます。

その際、「十牛図」が参考になると思います。「十牛図」は、禅宗で自分を磨く修行の

段階を十段階に分けて説明したものです。人格を磨きたい、素晴らしい人物になりたいと思った段階が、第一段階の「尋牛」です。それから少しずつ階段を上がって行って、知足の段階になると、人さまのために動きたくなる。十段階のうちの八とか九の段階です。ご自分で「十牛図」を調べ直しして下さい。色々質問が出てくるようであれば、その質問に対してお答えしたいと考えております。

恒例の質問

お時間になりましたので、さっとお聞きします。

- 昨晚寝る時、今日は良い日だったと思って寝た方
- 昨晚寝る時、明日は良い日だと思って寝た方

皆さん手が挙がりました。では、

- 明日は良い日だったなと思って寝た方？

過去形で思うことがポイントです。

- 今月に入って、嘘をつかなかった方
- 今月に入って、健康法を実践している方
- 今月に入って、有難うと言い、有難うと言われることが多かった方

皆さん手が挙がりました。有難うございます。「有難う」は、良い言葉ですね。

- 今月に入って、自分磨きをよくやっている方

今、シムックスの道場に書棚を作って、本を並べたいと思って準備をしているところで、私が自分磨きをするために読んだ本を並べます。それから、持ち帰っても良い本を並べます。更に、人さまから戴いた本も並べます。どういう本を読んで自分自身を作ろうとしてきたかが分かるような本棚にしたいと思っています。次回のフォーラムには、皆様にお見せできるかと思っています。

以上で本日の講話を終了致します。有難うございました。